



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	3,794	21.5	320	△35.7	282	△42.4	180	△63.6
28年6月期第1四半期	3,122	48.8	498	174.3	491	177.0	494	437.2

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 261百万円(△37.0%) 28年6月期第1四半期 414百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	3.10	2.98
28年6月期第1四半期	8.60	8.40

(注) 当社は、平成27年10月1日付及び平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	12,416	5,951	47.3
28年6月期	9,663	5,690	58.4

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 5,879百万円 28年6月期 5,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,609	30.3	1,450	△17.2	1,352	△18.4	854	△33.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	60,531,200株	28年6月期	60,528,400株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	2,709,740株	28年6月期	2,709,740株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	57,819,147株	28年6月期1Q	57,390,050株

(注)当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは平成28年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を可能性を拡大するフェーズと定め、事業領域の拡大と組織の構築に注力しております。各セグメントにおける投資強化や、人員増に備えた本社増床等により、当第1四半期連結累計期間(平成28年7月1日～平成28年9月30日)の業績は次のとおりとなりました。

売上高	3,794百万円 (前年同期比 21.5%増)
営業利益	320百万円 (前年同期比 35.7%減)
経常利益	282百万円 (前年同期比 42.4%減)
税金等調整前四半期純利益	279百万円 (前年同期比 58.2%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	180百万円 (前年同期比 63.6%減) ※

※前第1四半期連結累計期間において、海外子会社の売却益として特別利益177百万円を計上しております。

当連結会計年度の業績予想に対する進捗としては計画どおりに推移しており、また、全てのセグメントにおいて前年同期比で増収となっております。なお、Beauty Service事業においては、新規出店や新規事業への投資によって費用が増加したことに伴い、利益ベースでは前年実績を下回っておりますが、On Platform事業やGlobal事業においては前年実績を上回っております。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme(アットコスメ)」を基盤とした各種サービスが属しており、広告をはじめとするBtoBサービスと一般ユーザー向けのBtoCサービス双方を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「@cosme」のブランディング広告やBtoB課金サービスが順調に成長したことに加え、前期に株式を取得した株式会社メディア・グローブが展開するPRサービスが寄与いたしました。また、BtoCサービスも堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	1,689百万円 (前年同期比 18.0%増)
セグメント利益	611百万円 (前年同期比 5.8%増)

②Beauty Service事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme shopping」の運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営等が属しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ECサイト・店舗とも順調な成長となりました。

ECにおいては、送料無料キャンペーンの強化により購入単価は下落しましたが、購入件数が順調に増加し売上は前年同期比25%以上の伸びとなりました。

店舗におきましては、当第1四半期連結累計期間に2店舗オープンしたことに加え、前第2四半期連結累計期間以降に出店した5店舗が寄与いたしました。また、既存店ではルミネ新宿店が9月2日にリニューアルオープンいたしました。約1カ月の工事期間中は代理店舗での営業となったため新宿店の売上は落ち込みましたが、その他既存店と上述の新規店の貢献により、全体で増収となりました。

一方で、新規出店の加速や新規事業への投資により費用も増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 1,585百万円 (前年同期比 21.0%増)
セグメント利益 19百万円 (前年同期比 84.3%減)

③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

海外企業への化粧品卸売では、卸先企業の増加により売上が伸びました。中国における化粧品EC販売においては、出店しているECサイトの一つで物流の変更により約1カ月間販売が休止しておりましたが、購入件数も増加し全EC売上は堅調に推移いたしました。

また、中国におけるマーケティングサービスの伸びが、利益面で貢献いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 487百万円 (前年同期比 29.8%増)
セグメント利益 50百万円 (前年同期比 142.5%増)

④その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業とが属しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、保有株式の売却はなく派遣事業の売上のみを計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 33百万円 (前年同期比 461.8%増)
セグメント損失 2百万円 (前年同期 セグメント損失 12百万円)

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,753百万円増加し12,416百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,440百万円増加し9,241百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,355百万円、受取手形及び売掛金が355百万円、商品が413百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ313百万円増加し3,175百万円となりました。これは主に、有形固定資産が198百万円、無形固定資産が172百万円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,491百万円増加し6,465百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,326百万円増加し3,880百万円となりました。これは主に、買掛金が603百万円、短期借入金が600百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,165百万円増加し2,585百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,156百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ261百万円増加し5,951百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が156百万円、その他有価証券評価差額金が123百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月3日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,321	4,676
受取手形及び売掛金	1,592	1,947
商品	722	1,135
営業投資有価証券	744	1,127
その他	466	399
貸倒引当金	△42	△42
流動資産合計	6,802	9,241
固定資産		
有形固定資産	409	606
無形固定資産		
のれん	133	199
ソフトウェア	739	745
その他	71	171
無形固定資産合計	943	1,115
投資その他の資産		
投資有価証券	944	766
その他	565	688
投資その他の資産合計	1,510	1,453
固定資産合計	2,862	3,175
資産合計	9,663	12,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	525	1,128
短期借入金	50	650
1年内返済予定の長期借入金	591	994
未払法人税等	457	73
賞与引当金	156	93
その他	773	941
流動負債合計	2,553	3,880
固定負債		
長期借入金	1,412	2,568
その他	9	17
固定負債合計	1,420	2,585
負債合計	3,974	6,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,609	1,609
資本剰余金	1,543	1,543
利益剰余金	2,482	2,638
自己株式	△281	△281
株主資本合計	5,353	5,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	372
為替換算調整勘定	41	△3
その他の包括利益累計額合計	290	370
新株予約権	39	48
非支配株主持分	7	24
純資産合計	5,690	5,951
負債純資産合計	9,663	12,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,122	3,794
売上原価	1,307	1,664
売上総利益	1,815	2,130
販売費及び一般管理費	1,316	1,810
営業利益	498	320
営業外収益		
受取利息	0	0
投資事業組合運用益	2	1
その他	1	2
営業外収益合計	3	3
営業外費用		
支払利息	1	2
為替差損	7	18
持分法による投資損失	3	20
その他	1	0
営業外費用合計	11	41
経常利益	491	282
特別利益		
関係会社株式売却益	177	—
特別利益合計	177	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
その他	—	1
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	667	279
法人税等	174	98
四半期純利益	494	181
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	494	180

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	494	181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	123
為替換算調整勘定	△27	△44
その他の包括利益合計	△80	80
四半期包括利益	414	261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414	259
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,431	1,309	376	6	3,122	—	3,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	8	—	9	△9	—
計	1,431	1,310	384	6	3,131	△9	3,122
セグメント利益又は損失 (△)	578	121	21	△12	707	△208	498

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△208百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△210百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成27年9月11日付で株式会社メディア・グローブの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが44百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間において、「On Platform事業」セグメントで17百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,689	1,585	487	33	3,794	—	3,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	14	10	27	△27	—
計	1,692	1,585	501	43	3,821	△27	3,794
セグメント利益又は損失 (△)	611	19	50	△2	678	△358	320

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△358百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、当第1四半期連結会計期間から報告セグメントを従来の「マーケティング事業」、「小売事業」、「美容事業支援事業」及び「投資育成事業」の4区分から、「On Platform事業」、「Beauty Service事業」、「Global事業」及び「その他事業」の4区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した情報につきましては、「前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。